

家族の協力

家族の一員として、あなたにできることは何でしょうか。
一人ひとりが協力して、
よりよい生活をつくっていくためにはどうすればよいか、考えてみましょう。

① あなたの家庭を振り返ってみよう！

次のことについて、あなたの家ではだれがやっていますか？家事分担表を作ってみましょう。
主にする人→◎ とときどきする人→○ をつけましょう。(主にする人が2人以上でもかまいません。)

内容	だれが	自分					理由
食事	買い物をする						
	料理を作る						
	食器を並べる						
	後片付けをする						
整理・整とん	部屋の掃除をする						
	お風呂の掃除をする						
	トイレの掃除をする						
	ごみを出す						
洗たく	洗たくをする						
	洗たく物を干す						
	洗たく物をたたむ						
その他	きょうだいの世話や高齢者 <small>こうれいしや</small> などの看護や介護 <small>かいご</small>						
	お金の管理						
	学校の行事等に参加する						
	町内会の会合等に参加する						
	電気製品の修理をする						
	ペットの世話をする						

家事分担表について、話し合ってみましょう。



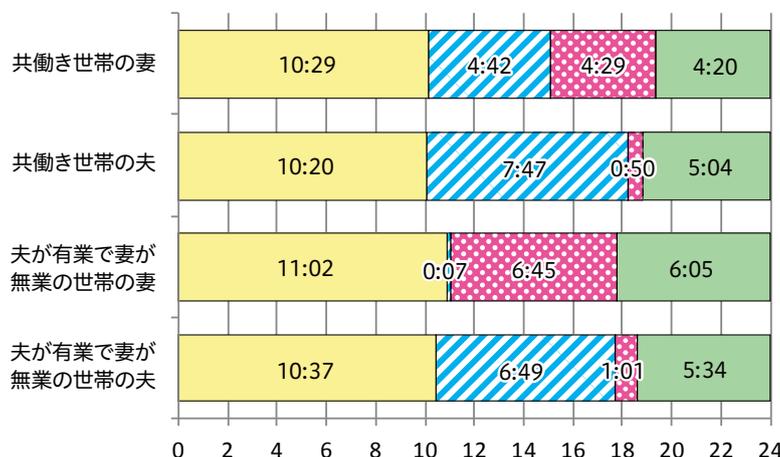
◎家族の形はさまざまですが、それぞれが家族の一員として協力することが大切です。

2 家事労働の男女比較

人は職業労働によって収入を得て、衣食住などに必要な物やサービスを購入して生活しています。また、家庭において購入した物を調理したり、洗ったり、片付けたりする家事労働も、人が生活するために欠かすことのできない労働です。

日本では、家事・育児・介護といった家事労働を行うのは、圧倒的に女性が多いのが現状です。育児休業についても、滋賀県内の企業に勤める男性の取得率は52.0%（※令和6年滋賀県調べ）と、低い水準となっています。

【図1】夫婦の生活時間(1日24時間に占める時間数)(滋賀県) 単位(時間:分)



資料:総務省「社会生活基本調査(令和3年)」

備考:端数処理の関係上、構成比の合計が24時間にならない場合があります。



資料編

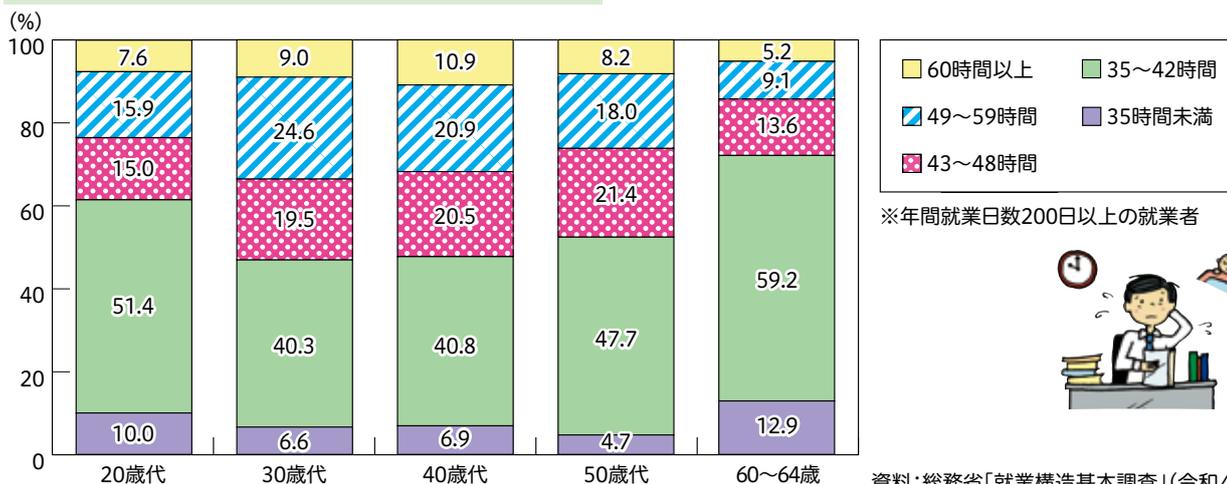
【p15 資料 1】共働き世帯数の推移(全国・妻が64歳以下の世帯)
【p15 資料 2】県内企業における育児休業取得率の推移(滋賀県)

なぜ【図1】のような状況になっているのでしょうか?

たとえば【図2】を見てみると、滋賀県では、30歳代の男性の約10人に1人が1週間に60時間以上、週5日働くと仮定すると1日に12時間以上働いていることが分かります。

男性の育児・家事関連時間が少ない理由は、「男性は仕事をし、女性は家庭を守るべき」といった固定的な性別役割分担意識のためだけではなく、男性をとりまく労働環境により、家事や育児に参加したくてもできない現状があるのです。

【図2】年齢階級別1週間の就業時間(男性)(滋賀県)



※年間就業日数200日以上の上業者



資料:総務省「就業構造基本調査」(令和4年)

備考:端数処理の関係上、構成比の合計が100%にならない場合があります。

男女がともに、人生のあらゆる段階に応じて、仕事、家事・育児・介護などの家庭生活、地域生活、自己啓発など、さまざまな活動について、自らの希望に沿った形でバランスを取りながら展開できる状態(仕事と生活の調和 = ワーク・ライフ・バランス)であるには、どうしたらよいでしょうか。



資料編

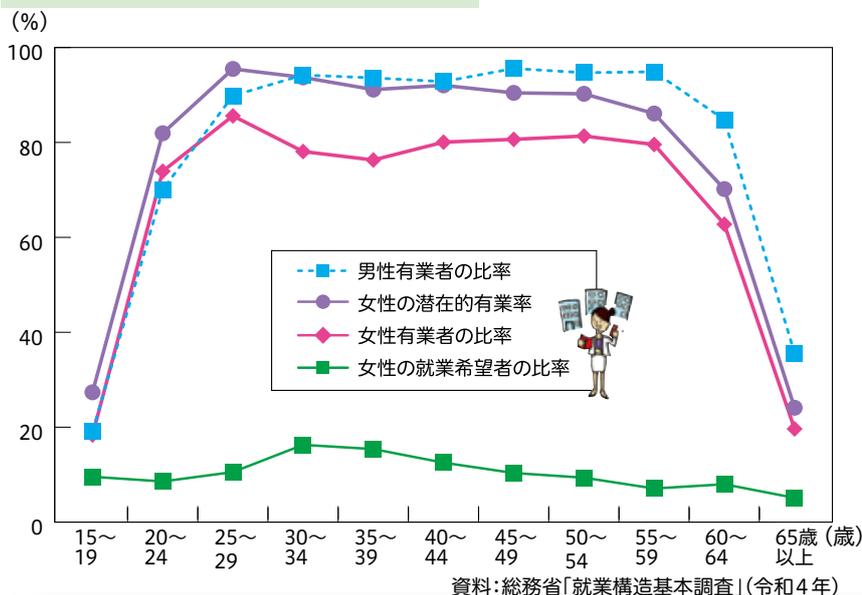
【p16 資料 3】男性が家事、育児、介護等に積極的に参加するために必要なこと(滋賀県)

3 女性が働き続けられる社会とは

滋賀県の男女別の有業率をしてみると、男性の有業率は台形を描いていますが、女性の有業率は、30歳代に低くなるM字型と呼ばれる形態となっています。

しかし、女性の就業希望者を含めた潜在的有業率を見ると、M字のくぼみは小さいことから、多くの女性が働きたいという気持ちを持っているものの、出産・子育て期に離職している傾向にあることが分かります。

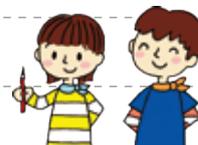
【図3】年齢階級別・男女別有業率(滋賀県)



現在では、食事の宅配サービスやハウスクリーニング等の家事を手助けしてくれる民間のサービスや、一時預かり等子育てを支援してくれる施設など、仕事と家庭の両立を助けてくれるサービスや施設が色々とあります。地域でどのようなサービスを受けられるか、調べてみましょう。



M字を解消するためには、どのような考え方や環境が必要でしょうか？話し合ってみましょう。



資料編 【p16 資料4】女性が仕事を続けていくために必要なこと(滋賀県)

仕事と家庭を両立している先輩の声を聞いてみましょう



サンメディカル株式会社
生産部 歯科技工士

みうら けんたろう
三浦 健太郎さん

社内で製造した歯科材料に関連する薬品の検査を行っています。

私は、3人目と4人目の子どもが生まれた際に、2回育児休業を取得しました。育休中は役所への届け出や、産後の妻のサポート、子どもたちの世話をしていました。子どもが生まれる度バタバタと大変ですが、赤ちゃんを見た時のお姉ちゃん達の笑顔など、忘れられない思い出が多くあります。

現在は、フレックスタイム制度や有給休暇を使うなどで仕事と家庭を両立しています。仕事もちろん大事ですが、子どもの成長は一瞬ですから、「今」は子どもと遊ぶことに全力投球しています。「今」はそのために仕事をしていると言っても良いかもしれません。



鈴木ヘルスケアサービス株式会社
訪問介護管理者・サービス提供責任者

うのみき
宇野 美紀さん

訪問介護の仕事をしています。

子どもを出産後、短時間勤務制度を利用して職場復帰しました。

子どもが小学生になった今では、1時間単位で利用できる有給休暇制度を利用することで、授業参観や家庭訪問などの学校行事に参加でき、子どもと関わる時間を優先できる環境で働けるため、とても充実しています。

コロナ禍では、心配事も多くなりましたが、仕事と家庭の両立ができる働きやすい職場なので、日頃から協力し合えるよう連携を図っており、好きな仕事を辞めることなく、やりがいを感じながら働いています。

※掲載されている先輩のプロフィール等は、令和5年1月現在のものです。

地域との関わり

地域では、環境美化や防災など、さまざまな活動が行われています。

みなさんは、地域社会の一員として、自治会や子ども会などでの活躍が期待されています。

地域活動が何のために行われているのか、自分や家族にとってどんな意義があるのか、考えてみましょう。

4 あなたが住んでいる地域の中で

あなたの住んでいる地域ではどのような活動が行われていますか？

どんな地域活動に参加したことがありますか？これから参加したい地域活動はありますか？



多世代交流のふれあいの場づくり
(大津市)



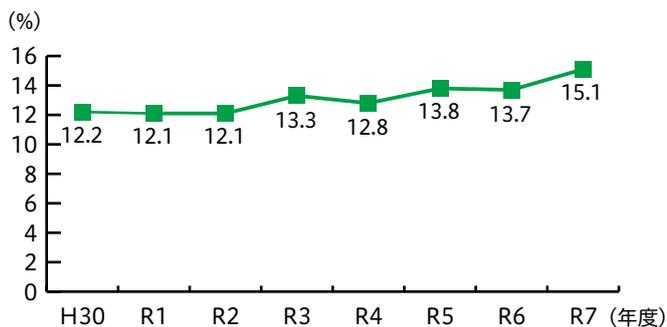
里山保全活動
(甲賀市)



多文化共生の地域づくり
(近江八幡市)



【図4】女性の代表または副代表のいる自治会の割合(滋賀県)



資料:滋賀県「令和7年度市町における男女共同参画推進状況」

私も公の場で自分の意見をはっきり言いたいんだけど、周りに何を言われるか分からないし…。

前に出るのは男の役目よ！



本当は前に出て発言するのは苦手なんだけど…。女性にも活躍してもらいたいな…。

やっぱり代表は男が務めるべきだな。

地域行事などで、男女どちらかに偏っている役割があれば、書いてみましょう。

図4とその右の絵を見て、どう思いますか？
あなたの地域では、男女で役割が分けられていませんか？

今までしたことのない活動でも、「これなら自分にもできそう！」と思えるものを探してみてください。

今の自分は、どのような地域活動に参加できるでしょうか？

